

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	学童保育たんぽぽ
-----	----------

取組の名称	繋げよう地域と人のぬくもり
実施場所	学童保育たんぽぽ 及びその周辺地域 公園など
対象地域	高津区子母口・蟹ヶ谷を中心とする地域
対象地域の特色・課題	昔ながらの住宅街で、長年地域に住まう家庭、3世帯以上で同居する家庭がある一方、新たな住宅が建てられ、移り住んできた核家族も多い。近隣にはせせらぎ遊歩道があり、地域の高齢者や家族連れが散歩したり遊んだりする姿が見られる。そこに関わりが生まれてつながりができていけば、自然な関わりの中でお互いの見守りや助け合いができて、よりよい地域となると考える。
取組の趣旨・目的	学童保育たんぽぽはこれまで「家庭・学校・地域」と連携し、子ども達の放課後の過ごし方が安全で安心できるものになるよう取り組んできた。定員30名程の小さなコミュニティーであるが、保護者だけでなく、ベテラン支援員、若手支援員、保育歴の長いサポートスタッフが日々子ども達の保育に当たり、社会性、人間関係を築く力、自分たちで問題を解決しようとする力など、様々な力を育めるようにしてきた。また、民生児童委員、ボランティアで保育に協力して下さる地域の高齢者の方、卒業したOB・OG生とその家族など幅広い層の人が子ども達の成長を見守り、活動を支えてくれている。この学童保育たんぽぽを拠点に、地域の子供達に関われる場や保護者同士が関わりをもてる場を提供することで、つながりのある地域作りの一助となると考える。

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>■放課後児童クラブ 前年度と同等の活動を実施。</p> <p>■地域交流事業</p> <p>(1)フードドライブ 実施日時：2023/4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、6/24、7/8、7/22、8/12、8/26、9/9、9/23、10/14、10/28、11/11、11/25、12/9、12/23、2024/1/13、1/27、2/10、2/24、3/9、3/23 (毎月第2、4土曜日 10:00～16:00) 4月から3月まで年間を通して、フードドライブに取り組む。回収BOXはたんぼぼ前に毎回設置。チラシ、ホームページ、SNSを利用して定期的に地域へ呼びかけを行い、回収した食品(パスタなど乾麺、缶詰、菓子類、レトルト食品、茶葉など)を川崎市社会福祉協議会などに寄付した。</p> <p>(2)たんぼぼ食堂&子育てサロン 実施日時：①2023/5/15(月)、②7/13(木)、③9/5(火)、④10/13(金)、⑤11/17(金)、⑥1/26(金) 17:30～18:30 年間6回(平日の夕方)、たんぼぼにて実施。 5月チキンライス、7月ちらし寿司、9月カレーピラフ、10月秋のちらし寿司、11月トマトソースペンネ、1月鮭わかめごはん。パック詰めをした炊き込みご飯などを配布/販売した。各回約40～50食を配布/販売。子供は無料・大人は¥100/食。周辺小学校・保育園などへチラシを配布、たんぼぼHPで周知した。食を通し地域の子どもや子をもつ家庭の支援が出来た。 また、初の取り組みである子育てサロンではたんぼぼ施設内を一部開放し、たんぼぼ食堂で購入したご飯を食べながら、子育てに悩む世帯に対しての相談場所や交流場所を提供出来た。</p> <p>(3)地域清掃 実施日時：2023/4/16(日)、2023/5/21(日) 9:00～10:00 子母口北町会江川清掃活動にたんぼぼとして参加。町会側の参加者は主に高齢の方が多く子ども達との交流もしながら、子ども達も普段自分達が遊んでいるせせらぎへの思い</p>
----------------------	---

	<p>や地域の方の支えを実感出来るいい機会となった。</p> <p>(4)かき氷の日 実施日時：2023/8/30(水) 15:00～18:00 たんぽぽにて実施。無料でかき氷を配布。近隣の親子、放課後に遊びに来る小学生、幼稚園・保育園帰りに立ち寄る親子など 57 名が来室。受付は高学年のたんぽぽ室生が担当したり、周辺地域の方々とたんぽぽで涼みながら交流を図ることができた。</p> <p>(5)防災訓練 実施日時：2023/10/26(木) 16:00～17:00 近隣の子供たちやその保護者を対象に、元消防士の方を講師としてお招きし、防災に関する講座を開催。水消火器などを実際に利用し、消火訓練も行った。</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>未就学児や小学生とその保護者～高齢者</p>	<p>定員 (1回あたり)</p>	<p>■放課後児童クラブ＝30名程度 ■地域交流事業 (2)＝最大 50 名程度、(4)＝最大 60 名程度、(5)＝30 名程度、他は定員なし</p>
<p>実施頻度</p>	<p>■放課後児童クラブ：240 日 ■地域交流事業 (1)フードドライブ：月に 2 回、(2)たんぽぽ食堂：2 ヶ月に 1 回 (3)地域清掃：年 2 回、(4)(5)かき氷の日・防災訓練：各年 1 回</p>		<p>活動日数 (年間)</p> <p>274日</p>

<p>スタッフ体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者会（たんぼぼを利用する家庭で構成）より 5 – 7 名が役員となり、企画・運営を主に担当する。 ・ 専任支援員 2 名、常勤支援員 3 名 ・ 運営委員 ・ 地域ボランティア
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子母口/新城小学校 <p>毎年、学童児の名簿を提出し、緊急時の引き取り等 連携・確認を行っている。4,5 月は、新 1 年生の下校サポートとして学童支援員が付き添って下校しており学校側も「たんぼぼ」で 1 グループ組んでくれて、スムーズな引き渡しができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子母口北町会 <p>たんぼぼとして地域清掃活動に参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードドライブかわさき、市社会福祉協議会 <p>たんぼぼで回収した食料品や日用品を寄付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ボランティア ・ 運営委員(民生委員含む)に、地域交流活動への参加/協力を依頼する。 ・ 近隣保育園・幼稚園へチラシの配布を依頼したり、参加を呼びかけたりする。
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と支援員が協力して運営する自主学童保育の運営を通じて、地域の子供たちの健全な育成に資することができた。 ・ 年間を通しての交流活動により、異学年の児童の保護者同士が繋がりをもつことができ、新たな関係を築くことで子ども達を見守る地域の目を増やすことができた。また、高齢者や様々な地域の人達に協力を求め、一緒に活動することで、これからの社会に求められるダイバーシティの一端を担えた。 ・ 子供のいる地域家庭に対して、「食」を中心とした支援を進めることにより、物理的・精神的両面から地域家庭の支援に寄与できた。 ・ たんぼぼ食堂とフードドライブ 2 つの取り組みにより、困難な生活状況にある家庭や子どもへのケアを推進することができた。

	<ul style="list-style-type: none">・たんぽぽや地域の公園、遊歩道での活動なので、地域の子ども達や家庭が参加しやすく、自然と人間関係を広げていくことができた。・普段から子どもに関わる立場の支援員がいる学童という場所の特色を生かし、保育内での活動やイベントを地域へオープンにする事で、安心して地域の子どものも関われる居場所を作ることができた。
--	---